

「みんなで学ぼう！水防災」をテーマに**水防災に関するシンポジウムを開催（H28.12.17）**会場：茨城県常陸太田市  
 ○昭和61年8月久慈川・那珂川大洪水から30年が経過したことを受け、当時の被害の様子を振り返るとともに、水防災への理解を深めていただくことを目的に、クイズ形式による講座、体験型防災ゲーム、パネル展、降雨体験車を展示し、参加者に楽しみながら学んでいただく「水防災に関するシンポジウム」を開催。  
 ○常陸太田市及び近隣市町より、子供から大人までの幅広い年齢層の方々、約100名に参加いただいた。



水防災講座

30年前の大洪水を振り返る



パネル展

減災対策協議会の取組を紹介



降雨体験車



豪雨を体験

○防災ゲーム「クロスロード」  
 二者択一の設問にYesまたはNoの決断をし、グループディスカッションを行った。

**問題1 あなたは川ぞいに住む小学生です**

夏休み、家でひとりでお留守番をしています。大雨が続いていましたが、いまは降っていません。お母さんから「もうすぐ帰るから待っててね」と連絡がありましたが、大雨のせいで川の水が増えてきたようです。放送で「避難してください」と言っています。あなたはどうしますか？

Yes（すぐに避難する） or No（母親の帰りを待つ）

実際に出题した問題



Yes Noカードを用いて意思表示



決断した意見についてグループで議論

### 参加者コメント

- ・いざという時のために日頃から家族や地域の方々話し合う必要があると感じました。
- ・小学生からお年寄りまでいろいろな立場の方と意見交換ができてよかった。子どもにとってはとても良い経験となった。

○久慈川・那珂川の大規模水害に対し、「逃げ遅れゼロ」を目指すためには、国・県から説明したハード対策（第1のツール）、ソフト対策（第2のツール）に加え、**自分自身が災害への構えを日頃から持っていくこと（第3のツール）**が必要であることを学んでいただいた。